



いなわしろ花火大会

野口英世博士が結んだ友好の絆
猪苗代の夏の夜空を鮮やかに彩る

01_02_03 音楽に合わせて約3千発の花火が打ち上げられ、猪苗代の夏の夜空を鮮やかに彩った。県内外から約1万7千人が観覧に訪れた **04** 「ひでよくん」らご当地キャラによるじゃんけん大会 **05** 猪苗代ロータリークラブや国際ロータリー第2530地区が協力し、会場内にはエクアドルのドライフルーツや民芸品などを販売するブースが設けられた



Pick Up

今月のイベント

野口博士が結んだ エクアドルとの絆 花火に友好を誓う

肩を組み友好を誓う前後町長とハイメ・バルベリス駐日エクアドル大使(右)

約3千発の花火と音楽が夏の猪苗代町の夜空を彩る「いなわしろ花火大会」は8月13日、「一期一会」をテーマに町運動公園で開かれました。町や観光協会などで行う実行委員会が主催し、東日本大震災からの復興などを目的として2011(平成23)年から毎年開催しています。花火打ち上げ前には「それいけ!アンパンマンショー」やひでよくんらによるご当地キャラじゃんけん大会が繰り広げられ、会場を訪れた家族連れなどが多彩なステージイベントを楽しみました。

今から100年前、エクアドルに渡った野口英世博士の黄熱病研究などが日本とエクアドルの友好の礎となり、外交関係の樹立につながりました。オープニングセレモニーでは、ハイメ・バルベリス駐日エクアドル大使があいさつを述べ、エクアドルの「フォルクローレ音楽ショー」が披露されました。

音楽に合わせて尺玉やスターマインが次々に打ち上げられると、会場を訪れた大勢の観客からは大きな歓声が上がりました。また、「エクアドルパート」では、エクアドルの音楽に合わせて同国の国旗にちなんだ黄色、青、赤の3色を基調にした花火が打ち上げられました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Sep.2018
9
No.695



今月の表紙

3日間で延べ約5200人の観客が訪れたオハラ☆ブレイク'18夏。イベント最終日のメインステージ、演劇「深夜、誰の胸の中にも、高速が走っている」より。(関連4ページ)

【撮影日】 8月5日
【撮影場所】 天神浜

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 いなわしろ花火大会
- 04 特集「オハラ☆ブレイク'18夏」
- 10 消防団員の熱き戦い 第41回県消防操法大会
- 12 まちのわだい
- 14 笑顔でこんにちは／地域おこし協力隊通信 ほか
- 16 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー